

【熊本S. J. C. D. 例会 抄録】

演 題 歯列内分布を考慮した上顎インプラント&クロスアーチスプリント2症例

演者名 川口 孝

日 付 2017年4月25日

keywords

1. クロスアーチスプリント
2. Super-structure
3. ショートインプラント

抄 録

20世紀、歯周補綴の典型的治療ゴールといえば、動揺歯を連結固定するためにクロス アーチスプリントを応用し、歯列の保全を図ることであった。

21世紀、進化したインプラントシステムの応用で、それが革新されつつある。
今回は、①62歳女性で、上顎歯牙5本保存可能症例、②54歳女性で上顎歯牙1本残存症例について、インプラントを含めたクロスアーチスプリントを応用し、安定した経過 を示しつつあるので、これらを呈示させて頂き、諸先生方とディスカッションしようと思う。